

各 位

会 社 名 J X ホールディングス株式会社 代表者名 代表取締役社長 高萩 光紀 コート・番号 5020 東・大・名証第1部 問合せ先 財務 I R部 I Rグル-プマネージャー 山本 真義

(電話番号 03-6275-5009)

当社子会社によるベトナム洋上ランドン油田における

CO<sub>2</sub>EOR パイロットテストの実施に関するお知らせ

当社子会社のJX日鉱日石開発株式会社(本社:東京都千代田区大手町二丁目、社長:古関信)が出資する日本ベトナム石油株式会社(Japan Vietnam Petroleum Co. Ltd.: JVPC、社長:古関信)は、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC、理事長:河野博文)、ベトナム国営石油(Vietnam Oil and Gas Group:PETROVIETNAM、President and CEO: Phung Dinh Thuc)とJVPCがベトナム沖で操業する15-2鉱区のランドン油田を対象とするCO<sub>2</sub>EORパイロットテストを実施することで本日合意いたしましたので、お知らせいたします。

なお、これに伴う現時点での当社連結業績への影響は軽微です。

以上

「添付資料」ベトナム洋上ランドン油田における CO2EOR パイロットテストの実施について

## **NEWS RELEASE**

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構 JX 日鉱日石開発株式会社

## ベトナム洋上ランドン油田における CO₂EOR パイロットテストの実施について

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC、理事長:河野 博文)、ベトナム国営石油 (Vietnam Oil and Gas Group:PETROVIETNAM、President and CEO: Phung Dinh Thuc)と日本ベトナム石油株式会社(Japan Vietnam Petroleum Co. Ltd.: JVPC、社長:古関 信)は、JVPC がベトナム沖で操業する 15-2 鉱区のランドン油田を対象とする CO<sub>2</sub>EOR パイロットテストを実施することで本日合意いたしました。

 $CO_2EOR$ (EOR: Enhanced Oil Recovery)は原油回収率向上技術の一つで $CO_2$ を油層に圧入し油の増進回収を図るものです。産業排出の $CO_2$ を用いた $CO_2EOR$ が油田全体に適用されれば、 $CO_2$ 地下貯留により地球温暖化防止にも貢献できます。

2007年以来、PETROVIETNAM、JX日鉱日石開発株式会社(社長:古関信)、JOGMECは室内実験、油層シミュレーションを駆使し、また、圧入するCO<sub>2</sub>源調査を含めた事業化研究を進めてきました。その結果、油田の生産量を相当量増加させると同時に、CO<sub>2</sub>も削減可能であることが判った為、本年6月より、実用化への第二段階である、パイロットテストを実施いたします。パイロットテストは、一坑井にCO<sub>2</sub>を圧入し、同じ坑井から原油を生産する小規模テストで、油田全体への適用前にその増油効果を確認するものです。テストはオペレーターであるJVPCが実施し、PETROVIETNAMおよび15-2鉱区パートナーが協力、JOGMECは支援を行います。

JOGMECは、1970年代よりEORに係わる技術開発を続け、特にアブダビ、クウェート、メキシコ、トルコ、ベトナムにおいてはCO<sub>2</sub>EORに重点を置いてきました。

本パイロットテストは、ベトナムのみならず、東南アジア地域で初の洋上でのCO₂EOR適用事例となります。

※ JVPC は、JX 日鉱日石開発株式会社が 97.1%出資する子会社です。

ConocoPhillips (U.K.) Gama Limited および Petrovietnam Exploration Production Corporation のパートナーとともに、オペレーターとして 15-2 鉱区において油ガスを生産しています。

## ■問合せ先

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構 問合せ先:R&D 推進部 高木 TEL:043-276-9264 広報担当:総務部 植松 TEL:044-520-8732

JX 日鉱日石開発(株)

問合せ先:総務部総務グループ TEL:03-6275-5241